

# 東海大学海洋研究所シンポジウム2022

## 海洋ロボティックスの現状と展望そして人材育成 —学官産コミュニティの連携を目指して—

日時:2022年7月2日(土曜日)午後3時~6時30分

場所:静岡市清水区折戸東海大学海洋学部  
8号館4階PLAT(主会場:定員50名)と  
オンライン形式のハイブリッド開催

主催:東海大学海洋研究所

共催:東海大学海洋学部・大学院海洋学研究科

共催:海洋研究開発機構・SIP革新的深海資源調査技術

後援:内閣府総合海洋政策推進事務局(予定)

「海洋ロボティックス」は厳しい環境下での海洋開発や未踏の領域探査において、その果たす役割は今後、益々重要とされる。海洋ロボティックスとは、ハードウェアやそれをコントロールするソフトウェアだけではなく、ネットワーク、人工知能そして人工知性も含む非生物的なシステムの総体であり、今後のブルーエコノミーを推進する主役となり得る。本シンポジウムでは、大学、研究機関そして民間の連携を目指しつつ、海洋ロボティックスの現状と展望を俯瞰し、その中で今後のビジネスや活躍の場とは何か、それを支える人材育成システムはどうあるべきかを考える機会としたい。

### プログラム

【15:00~16:35】

1:挨拶

内閣府総合海洋政策推進事務局海洋産業タスクフォース 高島正之

2:趣旨説明

東海大学海洋研究所 所長 平 朝彦

3:海洋ロボティックスの現状と展望

(1)「SIP革新的深海資源調査技術」における  
海洋ロボティックスの研究開発の成果

SIP革新的深海資源調査技術プログラムディレクター 石井正一

(2) 学術研究を推進するための海洋ロボティックスの開発の現状と展望

海洋研究開発機構 中谷武志

(3) 海洋ロボティックスの国内海洋ビジネスの展望

・AUV「SPICE」北海へ そして更なる  
活躍の場を求めて

川崎重工(株) エグゼクティブフェロー 湯浅鉄二

・海洋探査機「江戸っ子1号シリーズ」を活用した  
新たな海洋環境影響評価・調査事業への展望

いであ(株) 常務執行役員 峯岸宣遠

・洋上風力発電事業における海洋ロボティックス

東洋エンジニアリング(株) シニア・プリンシパル 佐藤弘志

【16:50~18:30】

4:若手人材(大学生ら)と今後の海洋ロボティックスの展望についての対話

参加校 ①東海大学②長崎大学③九州工業大学④東京海洋大学⑤高知工業高等専門学校 などからの学生発表と  
参加企業との対話集会

コーディネーター:SIP革新的深海資源調査技術サブプログラムディレクター 東 垣

5:閉会挨拶

海洋研究開発機構 理事長 大和裕幸

東海大学 学長 山田清志

会場での参加、あるいはオンラインでの参加を希望される方は、以下のリンクまたはQRコードからの事前登録をお願いします。  
締め切り6月28日(火曜)。定員250名。

<https://forms.gle/hjRaQEV7deSSStSFS6>

また、事後に編集した録画をYouTubeで配信する予定です。



事務局・問い合わせ先:

東海大学海洋研究所 村崎謙太・横山由香

〒424-8610 静岡市清水区折戸3-20-1

電話:054-334-0411(代表)

Email: kaiyo\_sympo@ml.u-tokai.ac.jp